

平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 クレアホールディングス(株)
代表者名 代表取締役社長 黒田 高史
(コード番号 1757 東証第 2 部)
問合せ先 取締役 岩崎 智彦
(Tel. 03-5775-2100)

特別利益、たな卸資産評価損の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は下記のとおり、特別利益及びたな卸資産評価損を計上いたしますのでお知らせします。また、平成 27 年 8 月 13 日に公表した平成 28 年 3 月期の業績予想の修正につきましても併せてお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

当社の連結子会社である株式会社 J P マテリアル（以下、「J P マテリアル」といいます。）に対して債権を有する金融機関等より債務の清算を行うにあたり、10 百万円の債務免除を受けることとなりました。これに伴い、平成 28 年 3 月期において、債務免除益として 10 百万円の特別利益を計上いたします。

2. たな卸資産評価損の計上について

本年 4 月 14 日以降に熊本県及び大分県を震源として断続的に発生している地震（以下、「本地震」といいます。）による当社グループ従業員への人的被害はありませんが、南九州を中心に展開している当社グループの太陽光発電施設建設事業に関しまして、特に販売面への影響について検討いたしました。

本事業の熊本県内の案件及び熊本県周辺の一部案件につきまして、本地震以降、販売先である売電事業者・投資家の間に不安が生じて当面の間販売が難しいと見込まれ、取り組みを中止せざるを得なくなる可能性が生じていることから、平成 28 年 3 月期において上記に該当する案件に係るたな卸資産（仕掛販売用太陽光設備）の帳簿価額 123 百万円を評価減し、当該評価損を売上原価に計上いたします。

なお、これら案件につきましては、現時点におきまして最終的に取り組みを断念したものではありません。

3. 業績予想の修正

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 696	百万円 △141	百万円 △245	百万円 △248	円 銭 △6.70
今 回 修 正 予 想 (B)	457	△370	△444	△436	△8.36
増 減 額 (B-A)	△239	△228	△199	△187	—
増 減 率 (%)	△34.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	829	△188	△188	△173	△4.68

4. 業績予想修正の理由

このたび業績予想の売上高につきまして、予想数値を 239 百万円下回る結果となりました。修正に至った主な要因は、太陽光発電施設建設事業において、中断されていた電力会社による系統連系（発電施設を電力会社の系統に接続すること）に関する事業者側の負担金等の回答が再開されたことから、売上目標として 391 百万円を予想としたものの、電力会社による実施事業者の特定作業が何段階にもわたり実施されており想定以上の期間を要し、当該年度に施設建設・販売等に至る案件がなかったことから、売上高を計上できませんでした。

一方、注力した太陽光関連機器販売事業における 87 百万円の売上増、オートモービル関連事業における 5 ヶ月間で 37 百万円の売上計上、その他給排水管設備工事の売上増を加え、これら合計で予想数値より 141 百万円の売上が増加いたしました。

業績予想の利益につきましては、上記売上高の減少に伴う売上総利益 51 百万円の減少に加え、上述のたな卸資産評価損 123 百万円の計上、及び当該年度に子会社化した J P マテリアルののれん償却額 18 百万円の発生により、営業利益、経常利益及び親会社に帰属する当期純利益について予想数値を下回りました。

以上